

平成21年度 第4回西区区民会議・議事録

開催日時	平成21年12月2日(水) 14:00~15:20
開催場所	西区役所2階 大会議室
出席者 (敬称略)	委員：出席17名(50音順) 朝日 守、安部 邦昭、荒井 清、有村 小夜子、小野 行俊、神田 稔、 来栖 芳江、黒岩 清、近藤 勇二、齋藤美智子、鈴木 隆司、田村 恭子、 深谷 隆、松井 盛、茂木 敬子、矢那瀬春代、吉岡 由和 区 吉野区長、矢部副区長、矢島くらし応援室長、関根区民生活部長、 中澤健康福祉部長 事務局(コミュニティ課) 大久保課長、吉田課長補佐、岡田主事 運営支援(コンサルタント) 山口 宣、上原美子 *エコまちづくりフォーラム(株) 傍聴者 なし
次第	1 開 会 2 議 事 (1) 各部会の活動報告について 西くらしく部会からの報告 生き域交流部会からの報告 広報部会からの報告 (2) 北本市デマンドバス視察の結果について (3) 粹々ふれあい三世代寄席について (4) 出前区民会議等について (5) その他 3 閉 会
配布資料	資料1：第3回西区区民会議・議事録 2：部会別活動経過一覧表 3：西区ふれあいまつりの出展結果について 4：北本市デマンドバス視察の結果について 5：寄席開催要領(案) 6：出前区民会議の開催(案)について 別 添：都市局まちづくり広報誌「KOREKARA」

1 開 会

- ・前回議事録(事前配布)については特に修正意見等がなかったため確定し、ホームページ及び情報公開コーナーにて公開する旨の報告があった。

2 議 事

(1) 各部会の活動報告について

(西くらしく部会からの活動報告)

- ・「減災」についての基礎的資料を委員が持ち寄り、手元にある情報の共有を図った。
- ・「西区の風景」については、西区ふれあいまつりにおけるアンケート募集活動の仮集計結果を確認し、西区の風景について、区民がどのように捉えているか分析した。
- ・「観光サイン計画」について、策定作業の進捗状況の説明を受けた。
- ・「出前区民会議」の実施方針などについて意見交換を行い、部会としての実施計画(案)を整理した。

(生き域交流部会からの活動報告)

- ・前回の部会で、部会の名称を「生き域交流部会」に決定した。
- ・「ふれあい三世代寄席」を本年度も継続して行う事を決定し、内容の検討を行った。
- ・「地域公共交通」のあり方を取り組みテーマとしていく中で、事例研究として「北本市のデマンドバス」の視察を行った。
- ・遊休地・地域資源の活用に関連して、植水民具収蔵庫に収蔵されている古農機具を視察し、今後の活用方法やふれあいまつりへの借用展示などについて調整を行った。

(広報部会からの活動報告)

- ・11月1日に区民会議だより第19号を発行した。
- ・次回は3月1日発行を目標に、1月に部会を開催し、活動を進めていく予定である。

(合同部会の協議内容について)

- ・10月14日に開催した合同部会では、まず区民会議第19号の構成案について検討を行い、最終稿に向けた修正方向などを確認した。この結果を踏まえ、11月1日に発行が済んでいる。
- ・ふれあいまつりの出展内容について、展示パネルの内容及びブース内の展示配置等について協議し、最終確認を行った。
- ・出前区民会議の実施方針について、フォーラム形式、講演会形式などによる実施を提案したが、普段の区民会議を見てもらうのが出前区民会議の主旨であることから、現在取り組んでいるテーマについてプレゼンテーションを行い、区民からの意見をもらう形式をとることとなった。また、区内各地で実施したいという意見や、長期的に各地を廻ってはどうかという意見を踏まえ、来年3月の開催に向けて準備を進めることとした。

(西区ふれあいまつりの出展結果について)

- ・11月14日、雨天にもかかわらず大勢の来場者があった。区民会議ブースは入口ゲートの付近にあり、活動紹介パネルの展示を行ったほか、西区の風景アンケートを実施した。その結果、100通を超えるアンケートを回収できた。また、植水民具収蔵庫より、鍬や万石通し、千歯こき等の民具を展示した。お年寄りにも好評で多くの区民とのふれあいを持つことができた。

【意見・質問】

委員：活き域交流部会での取り組みのひとつとして、遊休市有地の活用を考えているとのことであるが、具体的な場所などは考えているのか。私の自宅の近くにも遊休地があり、何かできないかと考えているが。

委員：いくつか検討の対象としている場所があり、宮前川の付近を花畑にできないか等のアイデアについて、様々な角度から検討していきたいと考えている。何か情報があれば、是非お知らせ願いたい。

委員：「西区の風景」の応募については、何か特徴は。

コンサル：三橋総合公園と花の丘農林公苑など、区民に良く知られている場所に票が集中した。その他には自宅の近くから見た風景、荒川河川敷などの風景、遠くに見える富士山など、少数多彩な内容が寄せられている。

(2) 北本市デマンドバスの視察について

- ・北本市は東西に4 km、歩いて1時間で端から端まで行ける広さで、高崎線が市の中央を通っており、バスも数社が通っている。交通が便利な市といえるが、交通の空白地域が生じているため、デマンドバスを実験的に運行することとなった。
- ・デマンドバスとは、乗りたいときにバスを呼んで利用するというもので、北本市では運転手を除く10人乗りのワゴン車を採用している。市民の声を背景に運行の準備を進めてきた。
- ・いわゆるコミュニティバスには、一定のエリア内でルート、停留所、ダイヤを定めたもの、バスを乗り継いで利用するもの、乗りたいときにバスを呼んで乗るデマンド式等が考えられる。北本市では、路線や時刻を決めず、利用者の希望する時間帯に合わせて乗降時間を決める「フルデマンド式」を採用している。
- ・現在の運行は10月1日から12月31日までの3ヶ月間、北本市民を対象に実験的に行っているものであり、ワゴン車2台で行っている。利用者数、要望等の調査を兼ねたもので、この結果は来年度以降に活用される。
- ・病院、北本駅、ショッピングセンターへの利用者が多く、今のところ大きな問題もなく順調に運行している。

(3) (仮称) 粋々ふれあい三世代寄席について

- ・事業の名称について、「粋々ふれあい三世代寄席に親しむ会」はかなり長いため、事務局から「粋々ふれあい三世代寄席」という名称を提案する。
- ・日本の文化を若い世代に伝え、世代間交流や地域住民の連帯感をより一層深めることを目的に、昨年6月に開催した「ふれあい三世代寄席に親しむ会」の第2弾として、2月27日の14時から、馬宮コミュニティセンターにて開催する。昨年同様、宝井馬琴師匠による講談、落語等の内容を検討中である。
- ・広報については、市報さいたま西区版2月号に募集案内を掲載する他、近隣地域へのチラシ配布等を検討している。
- ・会場の駐車場が狭いことから、飯田新田及び指扇地区などから会場までの臨時バスの運行を検討中である。

【意見・質問】

委員：名称について、「粋々ふれあい三世代寄席」と提案があったが、主旨をうまく伝えるため「粋々三世代ふれあい寄席」と訂正してはどうか。

一 同：了承。

委員：どれくらいの参加者を集めるのか。

委員：前回は、会場は異なるが250名が参加した。今回も同規模が想定できるのではないか。

委員：今回は駐車場が狭いが、遠い人は車で来られないと出足が鈍るのではないかと思う。地元優先で募集をかけるのは良いが、予算的に可能であれば、区内の拠点からのバス輸送を考えても良いのではないか。

事務局：駐車場が狭いので、まず地元中心に人数を集めたい。ただし、西区全体のイベントであるため、交通の便も確保すべく西武バスと調整をしている。具体的には「西区役所～指扇駅前～馬宮コミュニティセンター」コース、「飯田新田～植水支所～馬宮コミュニティセンター」コースに往復各1台を設定する予定である。市報さいたま西区版2月号への募集案内掲載に間に合うように、西武バスと調整している。

委員：JCメンバーにも是非PRして、親子などでたくさん参加して欲しい。

委員：チラシができ次第、所属しているJCや消防団連合会を通じて呼びかけをしたい。

(4) 出前区民会議等について

- ・前回の合同部会での意見交換をもとに、出前区民会議を本年度中に1回行うこととなった。
- ・今日の資料は、西くらしく部会における意見交換をベースに整理したもので、これをもとに意見交換していただきたい。
- ・実施日は第6回全体会を行う予定であった平成22年3月10日であり、それまでに行われる全体会は2月10日だけとなるため、方向性は本日の会議で確認しておく、詳細を部会で詰めていく必要がある。
- ・いつもの区民会議を見てもらうという主旨から、第一部で通常の全体会を開催し、第2部で、それぞれの部会の取り組みテーマの中から1つ選んで発表及び意見交換を行ってはどうか。いくつかの部屋に分かれて行う方法もあるが、今回は両方の部会を見ていただきたいという主旨から、同じ部屋で順番に発表を行うのが良いのではないかと思う。
- ・各部会発表の持ち時間は、意見交換を含めて、それぞれおよそ40分強程度と考えている。

【意見・質問】

委員：第1部の中で、会場の一般区民に対して区民会議が何であるのかのやさしい説明があったほうが良い。また、一般区民の席を傍聴席としているが、地域に密接なテーマについて、区民会議と一般区民の意見交換を行う場になるので、ただ聞いて終わりというイメージの傍聴席ではなく、区民参加席などの言葉を使ってはどうか。また、地域と密接な取り組みについて発表等を行うので、地元の要職にある人にも参加して欲しい。可能であれば、部会における準備を早めに進めて、2月10日の全体会で予行演習としてプレゼンができるといい。

コンサル：全体会では、寄席の開催報告、区民会議の年度末における中間報告、来年度の活動計画等になると思われる。傍聴席については、事務局と今後検討を進めたい。可能であれば、参加者に対して事前に内容を周知できるとなお良い

と思う。

会 長：出席者は、個別の苦情ではなく、出前区民会議の趣旨を理解して地域の課題を一緒に考えることのできる人が望ましい。その中には地元の要職にある人も含まれると思う。

(5) その他

(西区の概要に関するデータ紹介について)

- ・近藤委員より、各部会で取り組んでいる減災や地域交通などに関連し、西区の概要に関するデータ紹介があった。今回は西区の住宅地の広がりとして、住宅地のスプロール化や商業施設の配置、高齢者の居住状況などのについての解説があった。

(西大宮駅絵タイルベンチについて)

- ・西大宮駅駅前広場のベンチに設置する絵タイルを、指扇小学校・指扇北小学校の児童、大宮北特別支援学校の生徒が作成している。現在下書きを進めており、2月中にタイルを釜で焼き、西大宮駅の広場のベンチに組み込む予定である。
- ・これは区民会議の提案事業なので、完成の際はお披露目式などを検討していきたい。

(西区コミュニティ会議事例発表会について)

- ・12月8日の午後2時から、西区コミュニティ会議事例発表会を開催する予定である。区内を中心に様々なコミュニティ活動をしている団体が普段の活動や成果を発表する。区民会議に委員を選出されている4つの団体の事例発表も予定されているので、是非ご参加いただきたい。

(区民会議の傍聴について)

- ・全体会は公開が原則で傍聴も可能であるが、部会については今まで非公開が原則であった。本日の部会について傍聴の希望があったため企画運営会議で検討した結果、今後は部会も公開するというように決定した。

(区民会議の活動報告書について)

- ・中間報告書は毎年5月に市長に提出する事になっており、2月10日開催の次回全体会に素案をお示しする予定である。皆さんの意見を伺った後、3月に開催する今年度最後の全体会で確定したいと考えている。

6 閉 会

以 上